

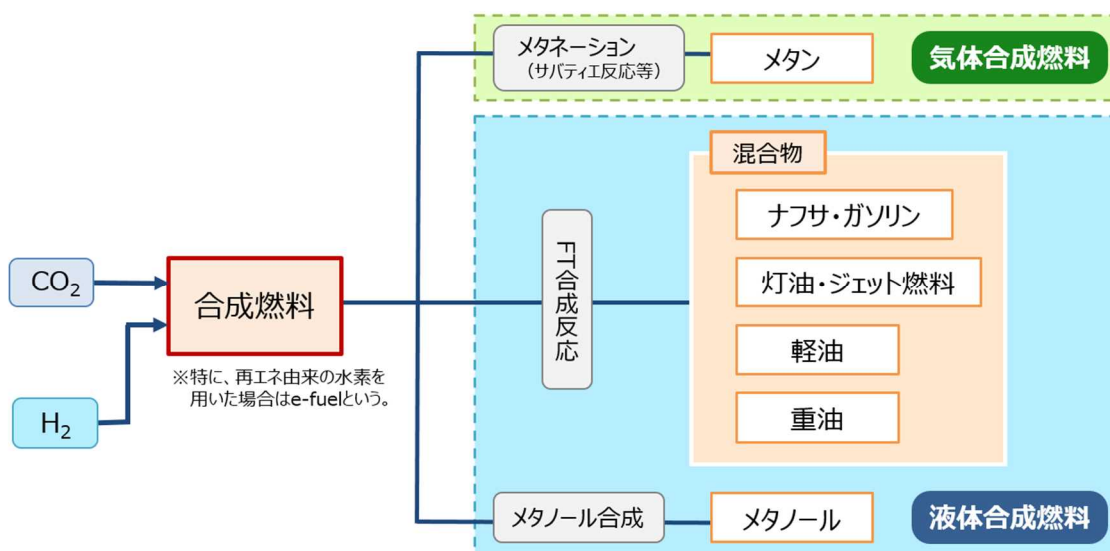
事業② アンモニアや合成燃料(e-fuel)の製造支援

次世代エネルギーのうち、アンモニアや合成燃料⁴²(e-fuel)については、その特性や多様な用途から、今後の需要増が予想されます。

そのため、市内で製造されたグリーン水素などを活用し、アンモニアや合成燃料(e-fuel)の製造に取り組む企業の誘致や市内事業者の参入を支援します。

【主な取組】

- ◇アンモニアや合成燃料(e-fuel)の製造に取り組む企業の誘致を図ります。
- ◇アンモニアや合成燃料(e-fuel)の製造に取り組む市内事業者を支援します。



出典：資源エネルギー庁公式 スペシャルコンテンツ「エンジン車でも脱炭素？グリーンな液体燃料「合成燃料」とは」

⁴² CO₂(二酸化炭素)とH₂(水素)を合成して製造される燃料、“人工的な原油”とも言われる。

事業③ 水深 30 m 以深の海域への導入可能性の検討

県では、浮体式を含めた、水深 30 m 以深の海域における洋上風力発電の導入可能性の検討を進めていることから、本市においても、県と連携しながら、さらなる沖合への洋上風力発電の導入可能性の検討を行います。

また、ジャケット式・浮体式の導入を見据えた、秋田港の機能強化を促進するほか、必要となる資材・部品・治具等の供給体制の整備に向けた技術動向を調査します。

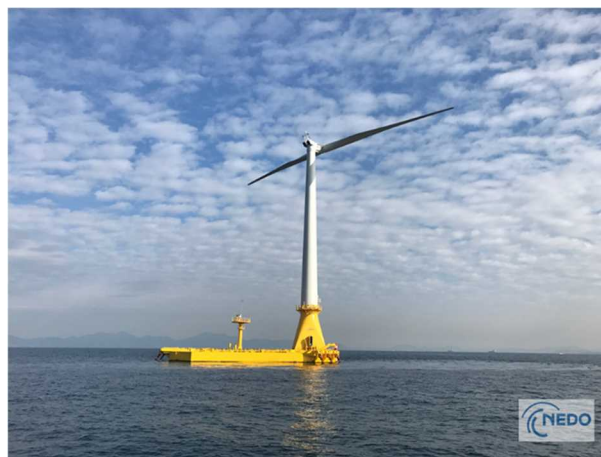
【主な取組】

- ◇ジャケット式や浮体式等の洋上風力発電の技術動向を調査します。(再掲)
- ◇国・県などの関係機関への積極的な要望活動を行います。(再掲)
 - ・風車の大型化に対応した秋田港の機能強化の推進
 - ・建設工事における秋田港の継続的かつ効率的な利用の促進
 - ・ジャケット式や浮体式の洋上風力発電の導入を見据えた港湾機能の向上
- ◇「洋上風力発電導入技術研究会」等の会議に参加し、さらなる沖合への洋上風力発電の導入に向けた検討を行います。

【ジャケット式洋上風力発電】



【浮体式洋上風力発電】



出典:NEDO
「洋上風力発電の取組」
「次世代浮体式洋上風力発電システム実証研究」